

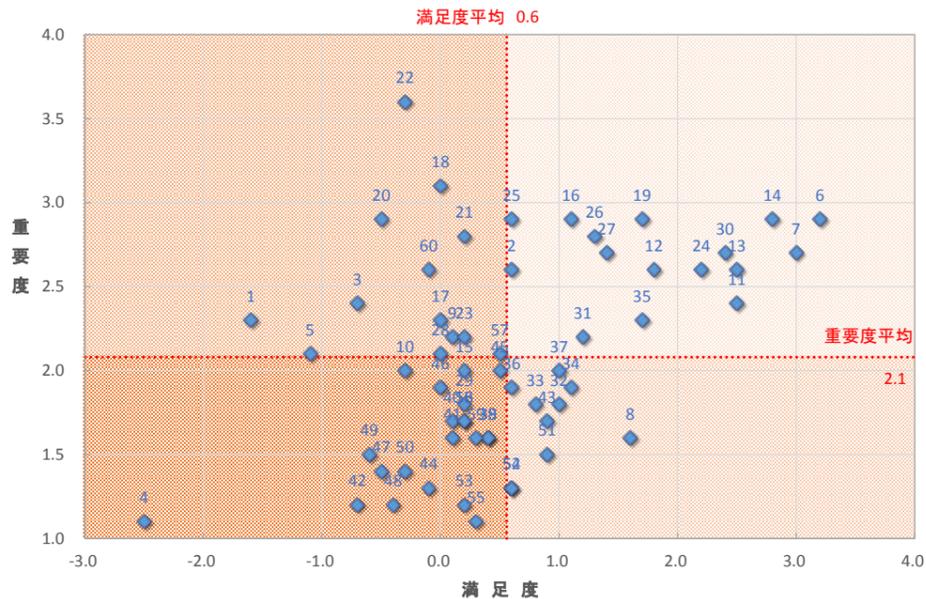
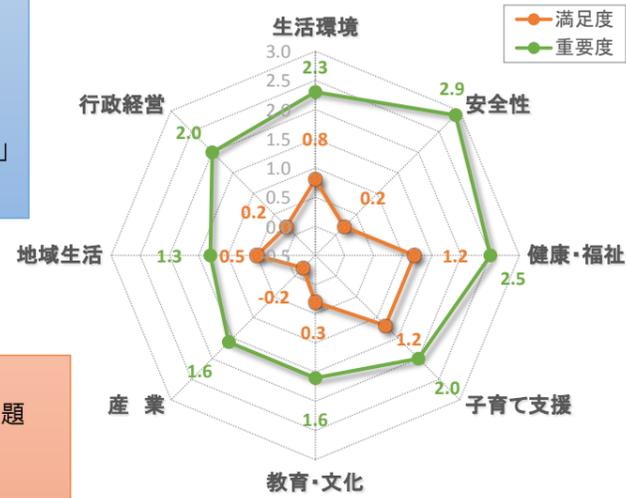
【原村全体】

「生活環境」では、自然環境や景観など満足度が高い反面、買い物や公共交通、交通安全対策などは満足度が低くなっています。
「産業」及び「安全性」について、満足度が低く重要度との差が大きく今後の村づくりの課題分野となっています。



『満足度が高い』
「健康・福祉」「子育て支援」
『満足度が低い』
「産業」「安全性」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「子育て支援」に加えて生活環境も

【満足度×重要度】
満足度が低く重要度の高い項目が課題
22 除雪対策
18 歩道整備など安全対策
20 街路灯など防犯対策
3 食品・日用品の買い物
1 公共交通の充実 など

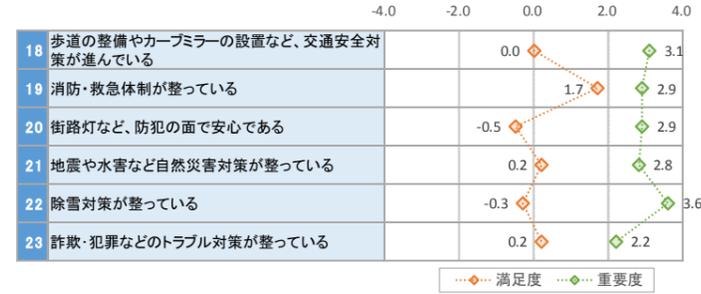


村の自然環境などの資源、医療給付制度などの取り組みについては、満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
日常生活に関わる項目や産業などの項目に不満、改善要望高い

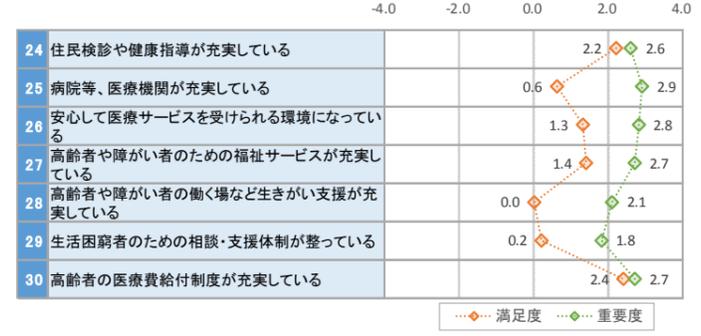
生活の快適さ・便利さについて



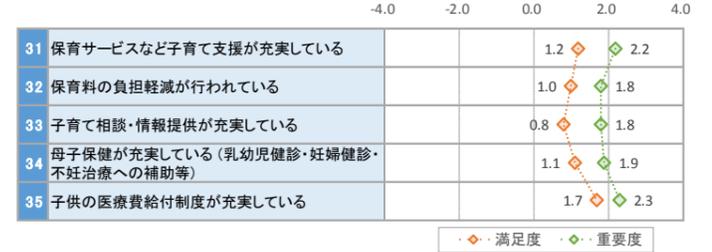
安全性について



健康や福祉について



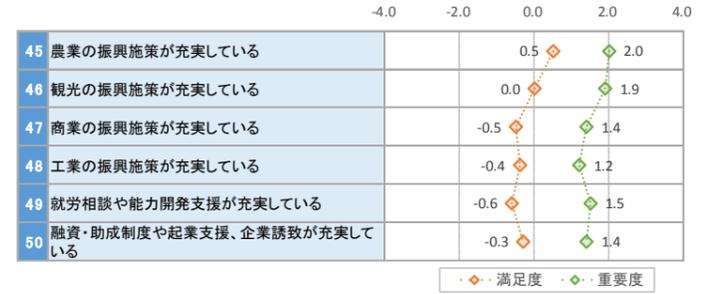
子育て支援について



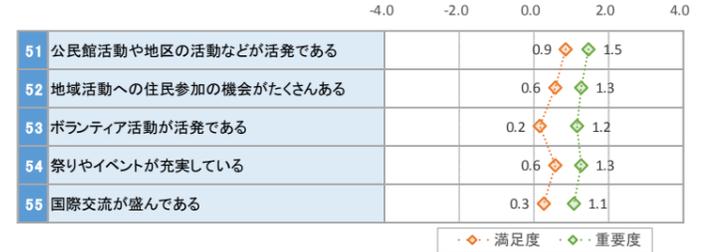
教育や文化について



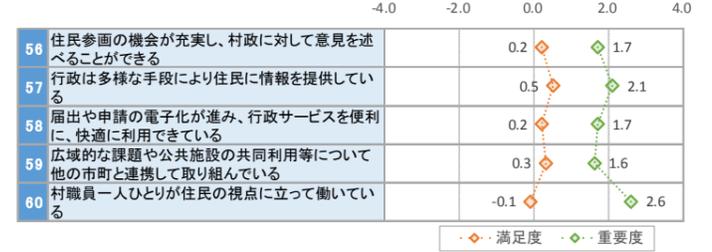
産業について



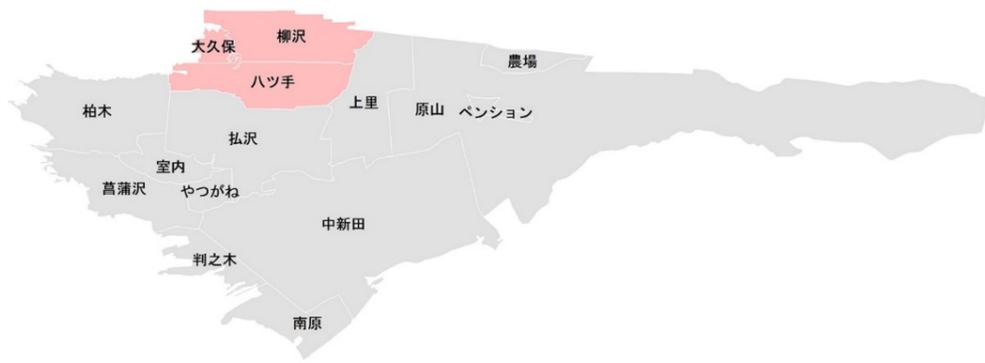
地域生活について



行政経営について

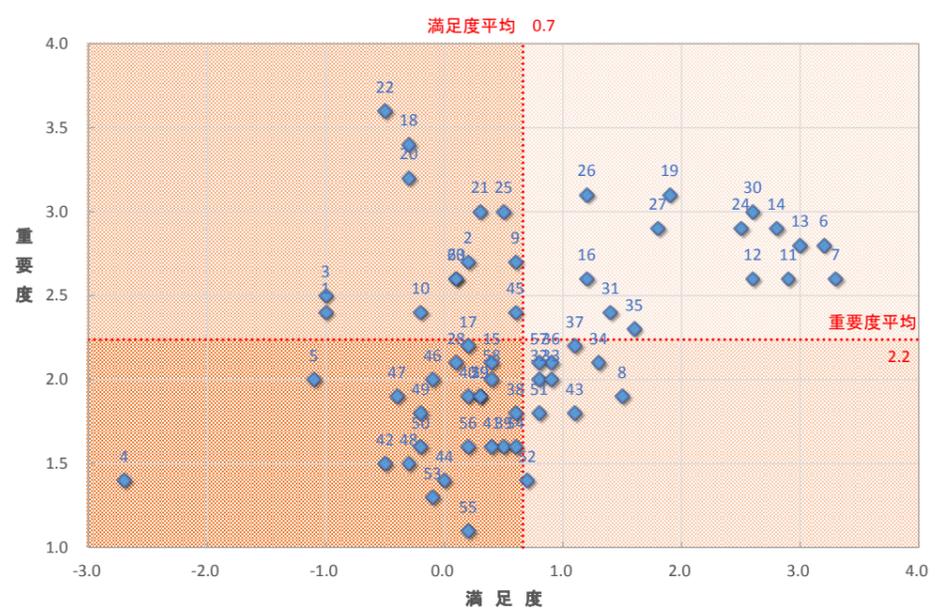
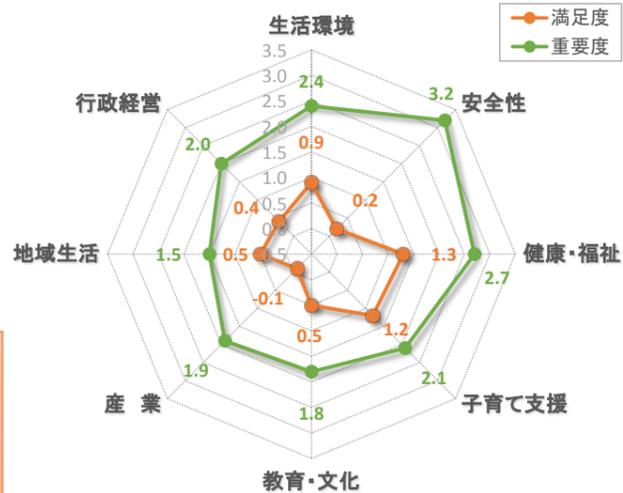


【大久保・柳沢・ハツ手】 茅野市に隣接する地区 他の地域に比べ「安全性」の重要度が高い



満足度が高い
「健康・福祉」「子育て支援」
満足度が低い
「産業」「安全性」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「子育て支援」に加えて生活環境も

【満足度×重要度】
満足度が低く重要度の高い項目が課題
22 除雪対策
18 歩道整備など安全対策
20 街路灯など防犯対策
3 食品・日用品の買い物
1 公共交通の充実 など

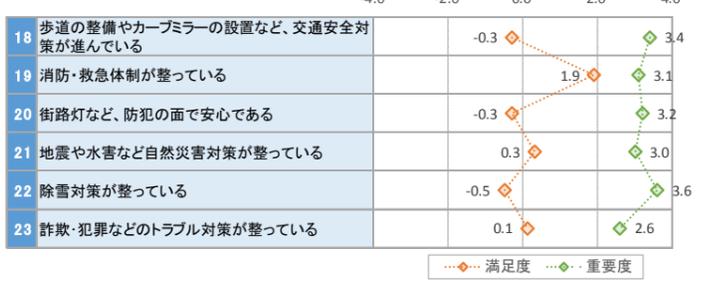


自然環境などの資源、医療給付制度などの取り組みについては、満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
特に「交通安全対策」「除雪対策」「防犯対策」等の重要度が高い

生活の快適さ・便利さについて



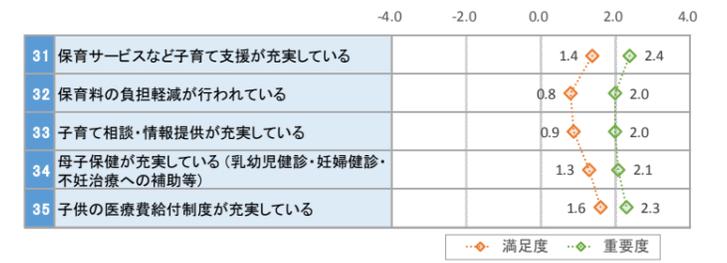
安全性について



健康や福祉について



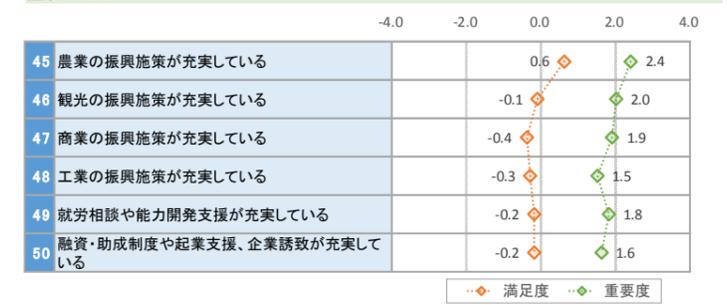
子育て支援について



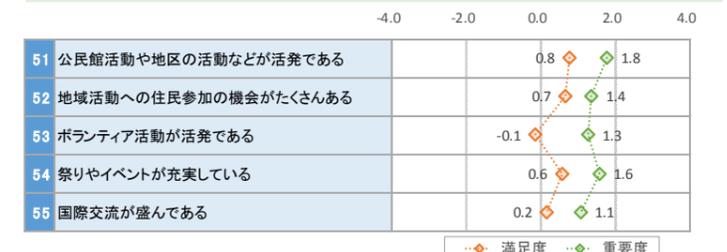
教育や文化について



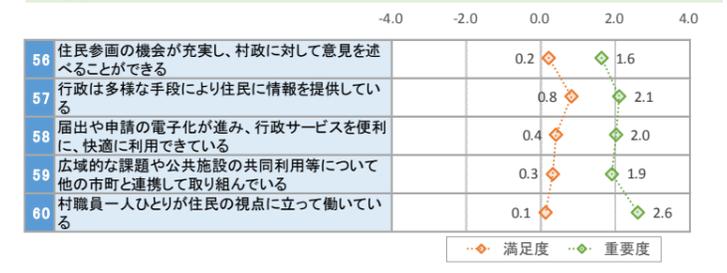
産業について



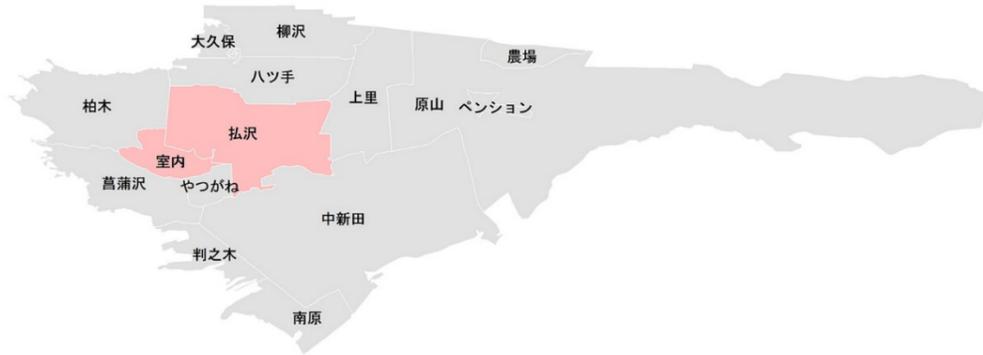
地域生活について



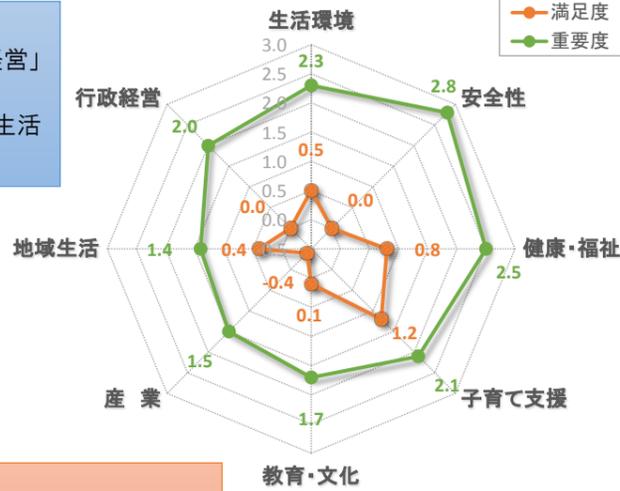
行政経営について



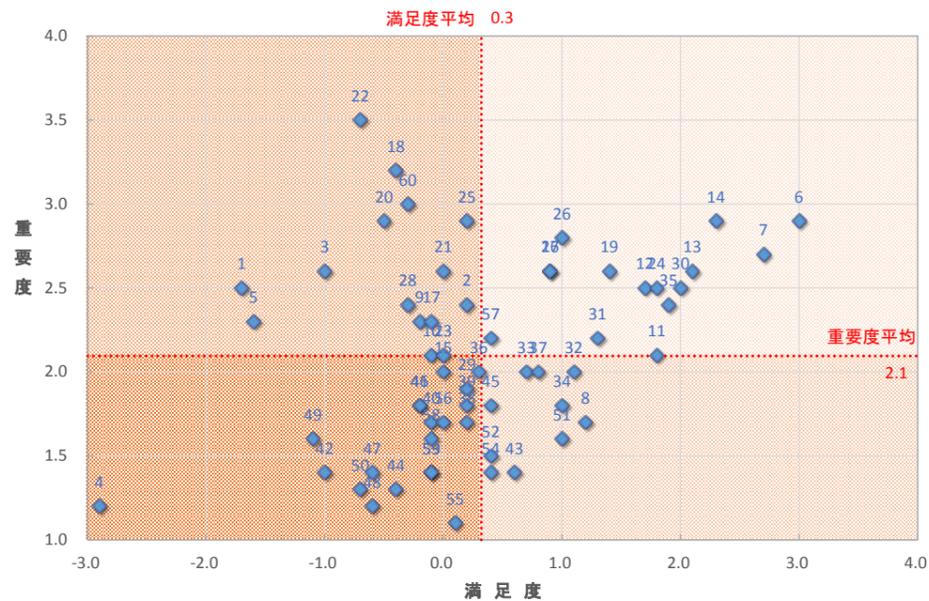
【弘沢・室内】 原村の中心地域。 子育て支援を除くとほぼ全ての分野で満足度が低く、今後の重要度（必要度）は高い。



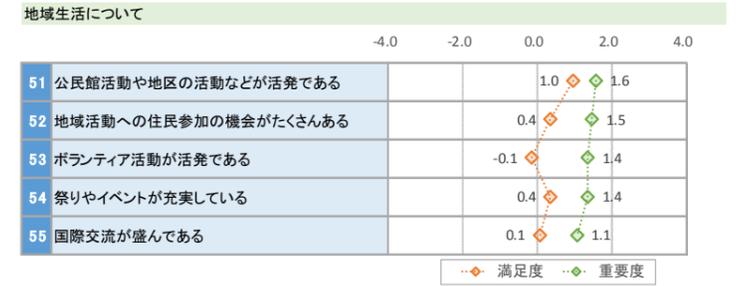
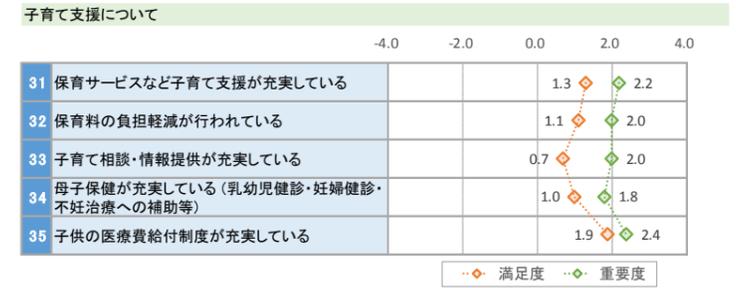
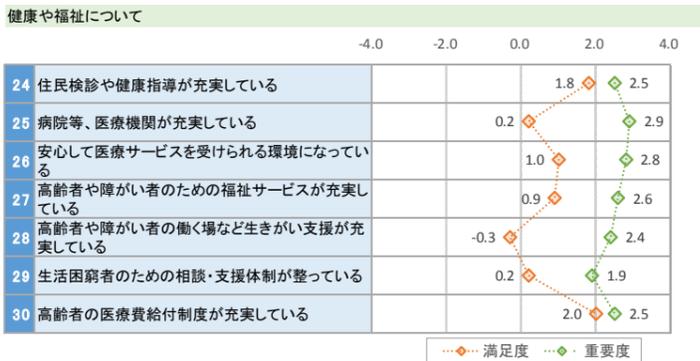
満足度が高い「子育て支援」
満足度が低い「産業」「安全性」「行政経営」
 「教育・文化」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「生活環境」「子育て支援」「行政経営」



【満足度×重要度】
 満足度が低く重要度の高い項目が課題
 22 除雪対策 18 歩道整備など安全対策
 20 街路灯など防犯対策 3 食品・日用品の買い物
 1 公共交通の充実 5 働く場の確保 など



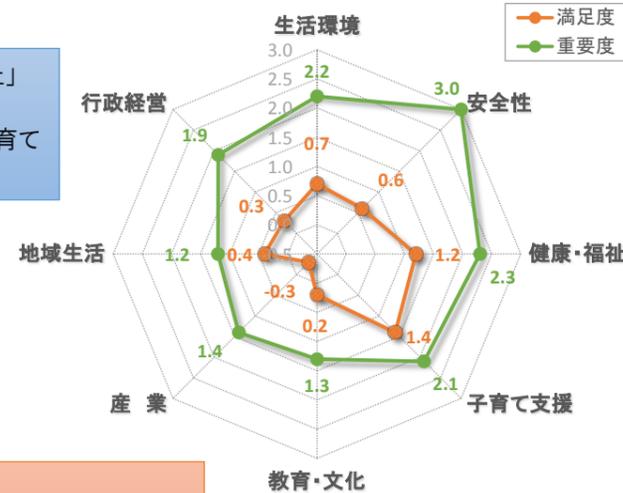
自然環境などの資源、医療給付制度などの取り組みについては、満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
 「除雪対策」や「交通安全対策」や「公共交通」「買い物」、「行政サービス」など幅広い分野で重要度が高い



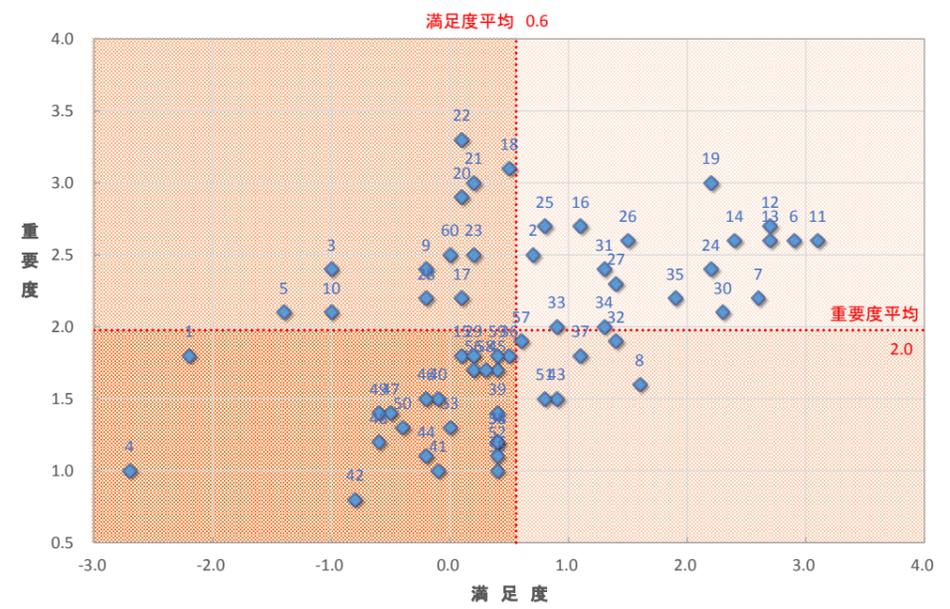
【柏木・菖蒲沢】 村の西側地域 「子育て支援」「健康・福祉」分野は一定の満足、「安全性」「生活環境」分野が課題



満足度が高い「子育て支援」「健康・福祉」
満足度が低い「産業」「教育・文化」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「子育て支援」「生活環境」



【満足度×重要度】
満足度が低く重要度の高い項目が課題
22 除雪対策 21 自然災害対策
20 街路灯など防犯対策 3 食品・日用品の買い物
5 働く場の確保 10 子どもと過ごせる公園など

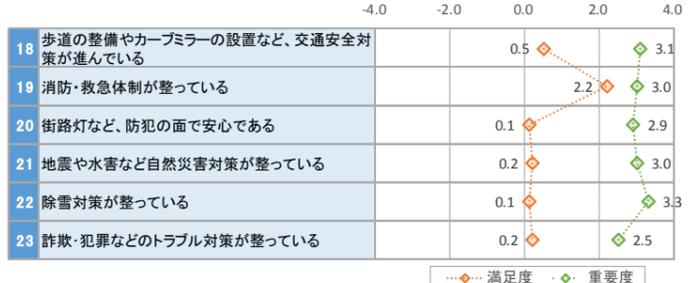


自然環境や上下水道などの環境面、医療給付制度などの取り組みの満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
安全性に関する重要度が最も高く、除雪対策や交通安全対策、自然災害への対策について特に重視している。

生活の快適さ・便利さについて



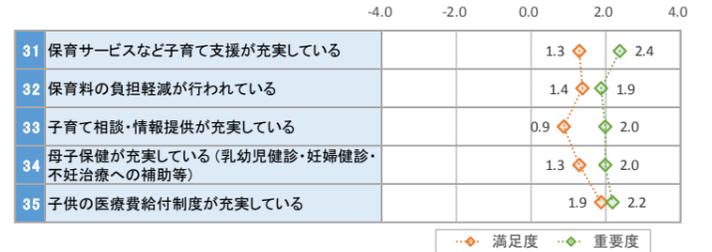
安全性について



健康や福祉について



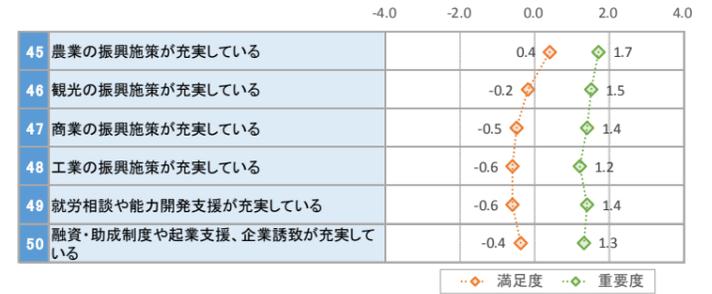
子育て支援について



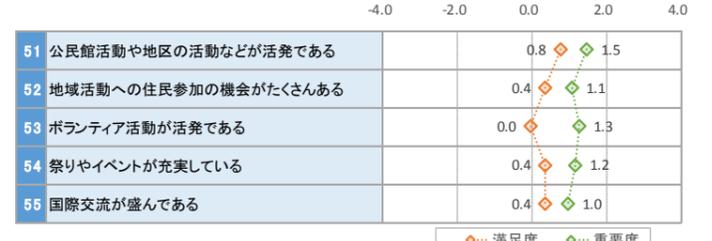
教育や文化について



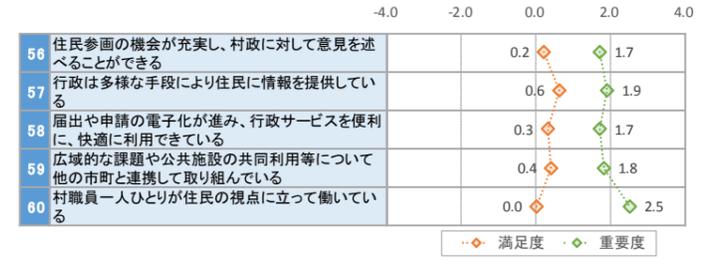
産業について



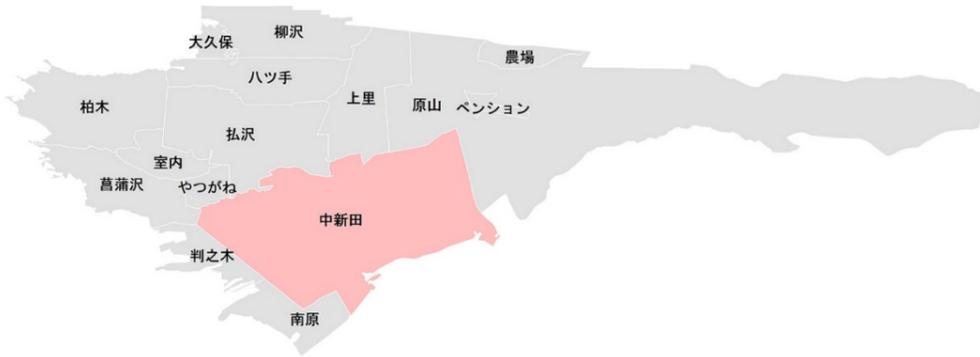
地域生活について



行政経営について



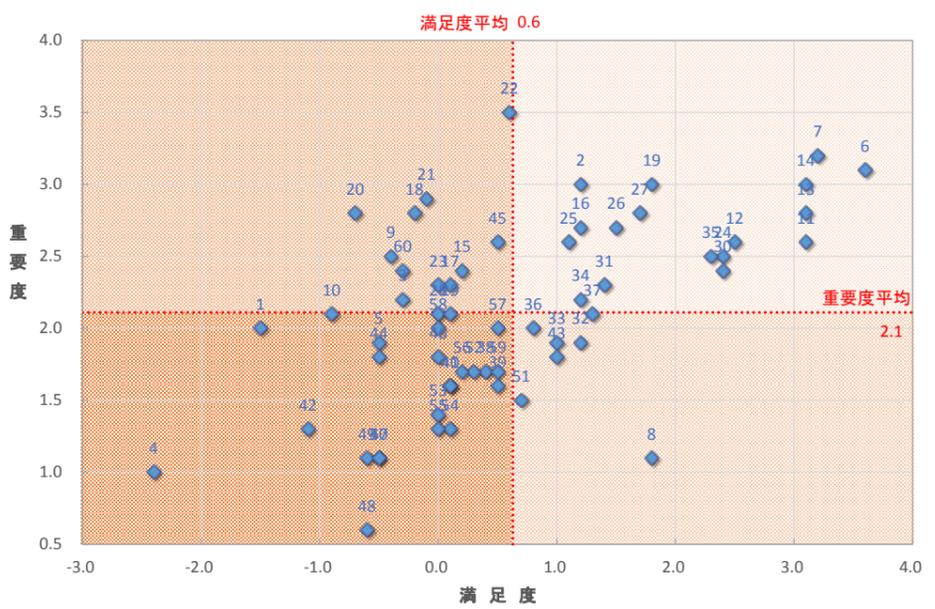
【中新田】 富士見町に隣接した村の南部地域 生活環境、子育て支援、健康・福祉と満足度が高い



満足度が高い
「健康・福祉」「子育て支援」「生活環境」
満足度が低い
「産業」「地域生活」「行政経営」「安全性」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「子育て支援」「生活環境」「行政経営」



【満足度×重要度】
満足度が低く重要度の高い項目が課題
21 自然災害対策 20 街路灯など防犯対策
18 歩道整備など安全対策 9 身近な公園
10 子どもと過ごせる公園 60 村職員の姿勢 など

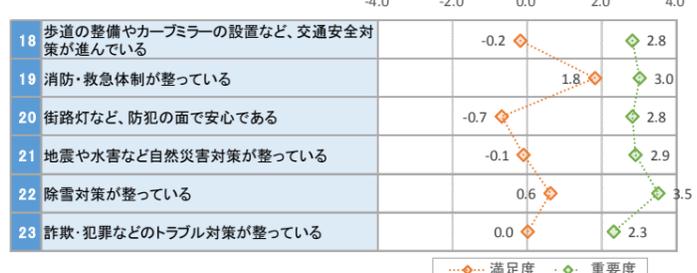


自然環境や上下水道などの環境面、医療給付制度などの取り組みの満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
安全性に関する重要度が高いほか、公共交通や買い物、身近な公園など生活環境の重要度が高い

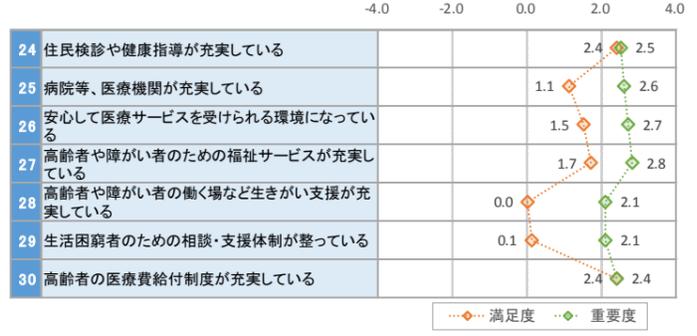
生活の快適さ・便利さについて



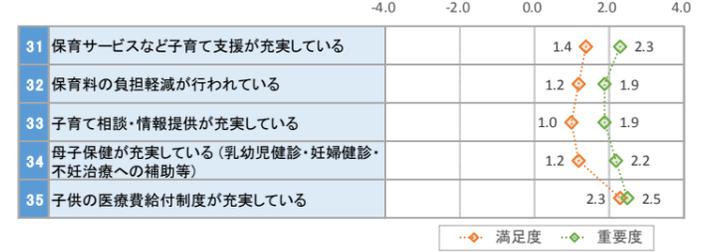
安全性について



健康や福祉について



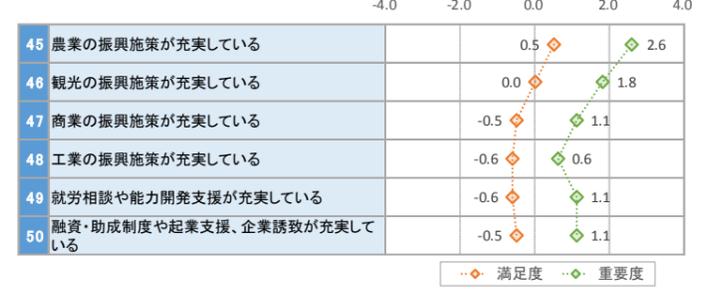
子育て支援について



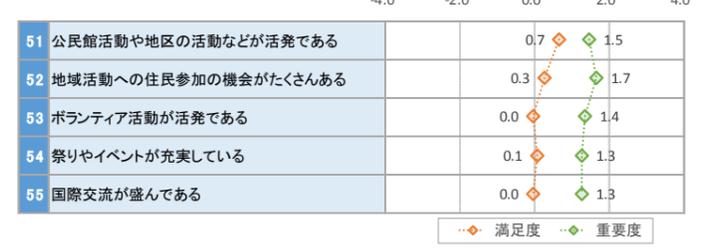
教育や文化について



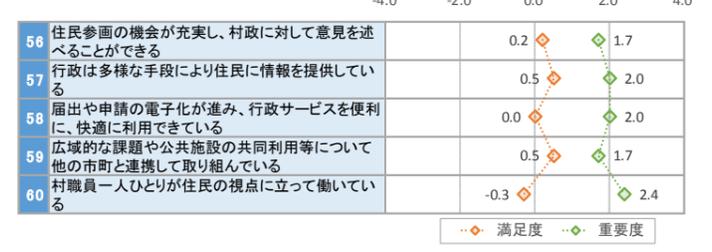
産業について



地域生活について



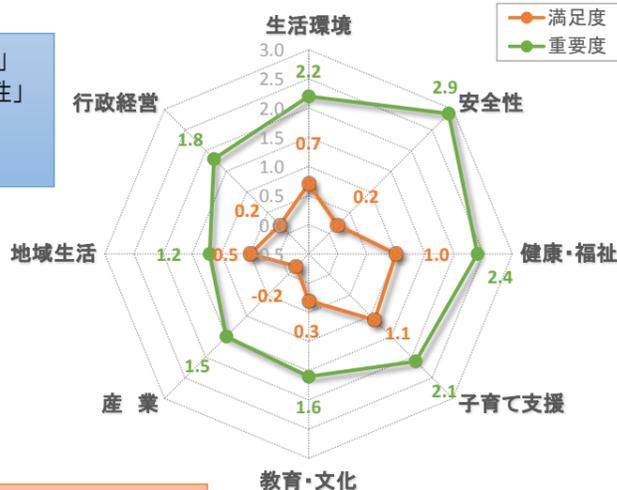
行政経営について



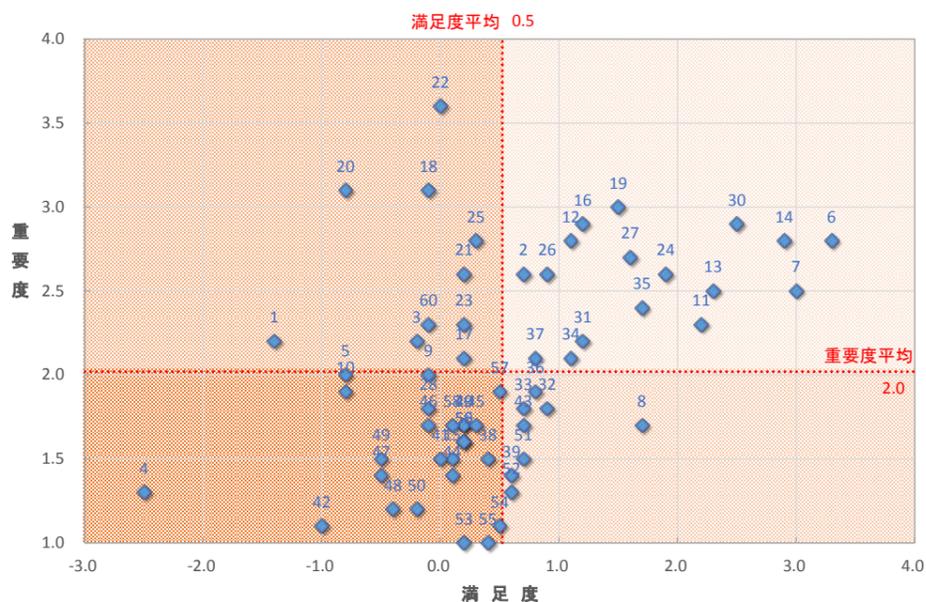
【南原・判之木・やつがね】 南西部、中央自動車道諏訪南インター近くで村の玄関口となる地域



満足度が高い「健康・福祉」「子育て支援」
 満足度が低い「産業」「行政経営」「安全性」
 重要度では、「安全性」「健康・福祉」
 「子育て支援」「生活環境」



【満足度×重要度】
 満足度が低く重要度の高い項目が課題
 22 除雪対策 20 街路灯など防犯対策
 18 歩道整備など安全対策 1 公共交通の充実 など

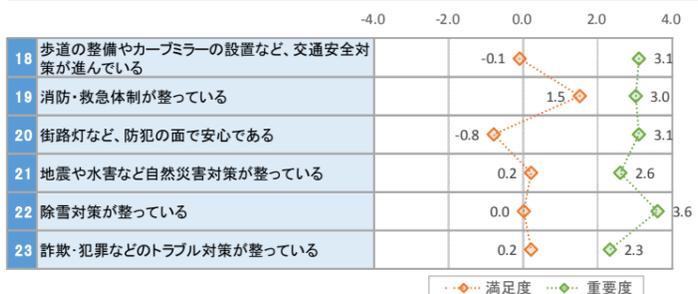


自然環境や景観、医療給付制度などの取り組みの満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
 安全性に関する重要度が高いほか、公共交通や子どもと過ごせる公園など生活環境の重要度が高い

生活の快適さ・便利さについて



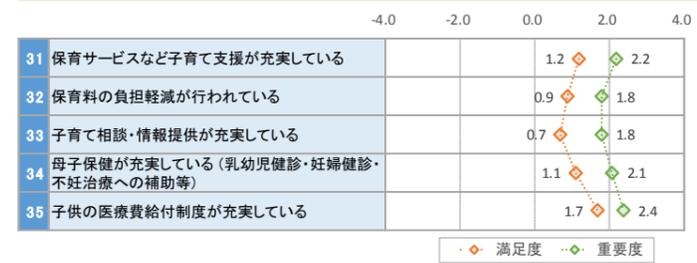
安全性について



健康や福祉について



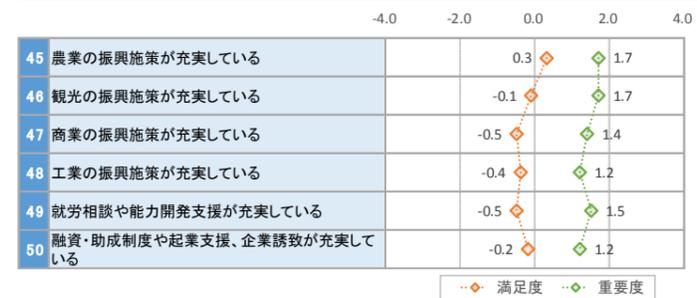
子育て支援について



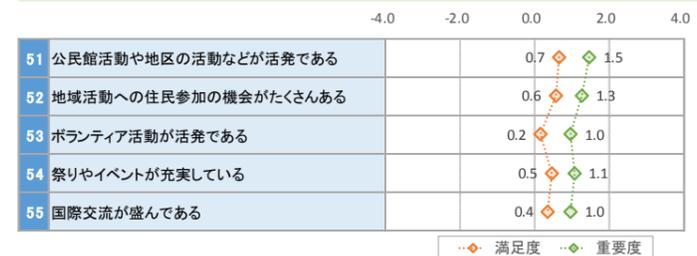
教育や文化について



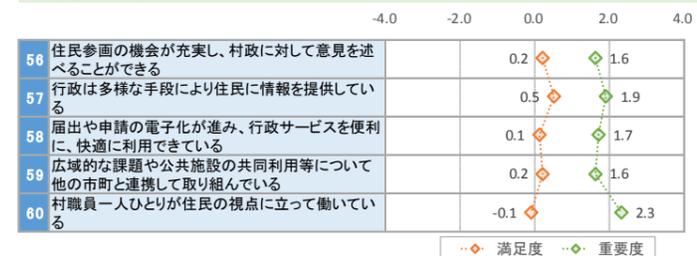
産業について



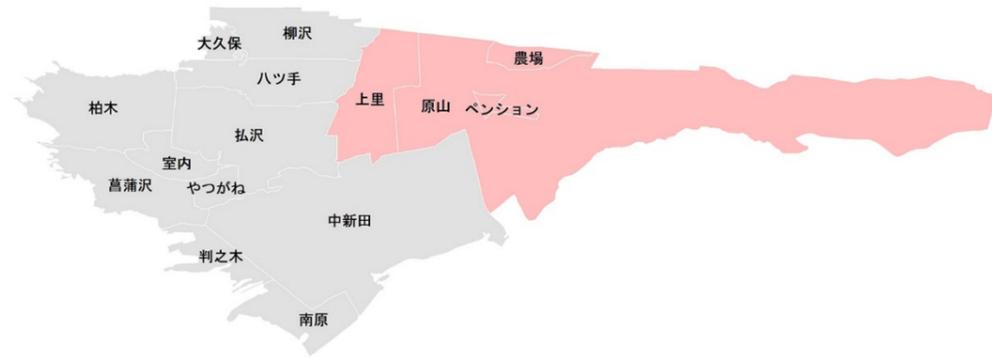
地域生活について



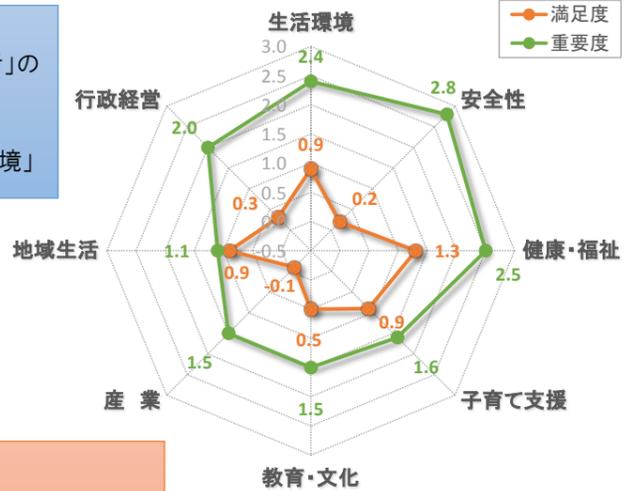
行政経営について



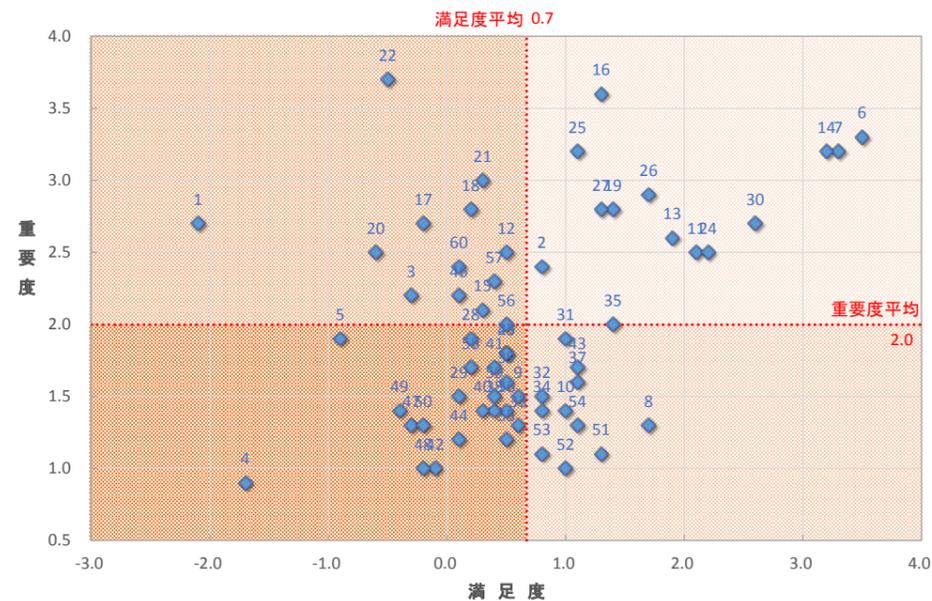
【上里・ペンション・農場・原山】 村東部の高原地域、別荘地やペンションなどがあり、来訪者、移住者が多い地域



満足度が高い「健康・福祉」
次いで「生活環境」「子育て支援」「地域生活」の満足度が比較的高い
満足度が低い「産業」「安全性」「行政経営」
重要度では、「安全性」「健康・福祉」「生活環境」



【満足度×重要度】
満足度が低く重要度の高い項目が課題
1 公共交通の充実 22 除雪対策
20 街路灯など防犯対策 17 エネルギーの有効利用
21 自然災害対策 18 交通安全対策 など



自然環境や景観、医療給付制度などの満足度が高く、今後も重要視したい取り組み
安全性に関する重要度が高いほか、公共交通やエネルギーの有効利用などの項目も高い

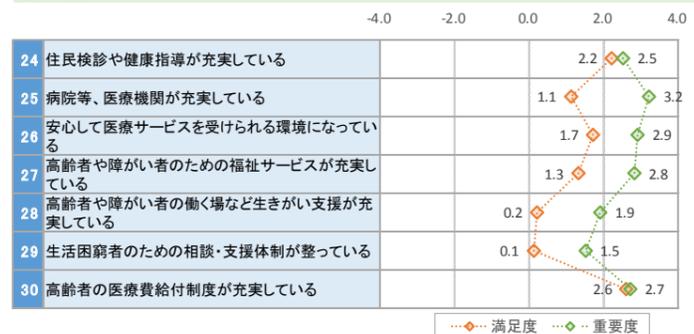
生活の快適さ・便利さについて



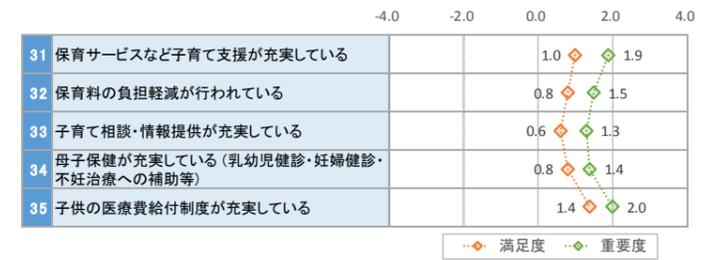
安全性について



健康や福祉について



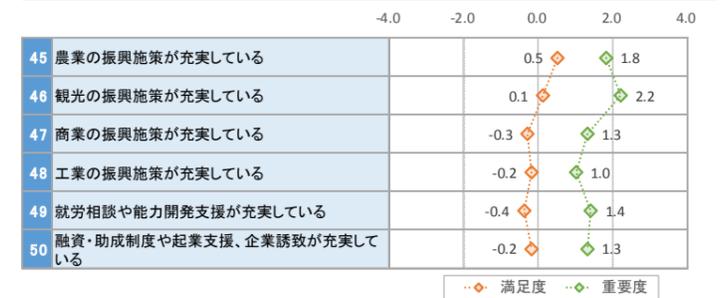
子育て支援について



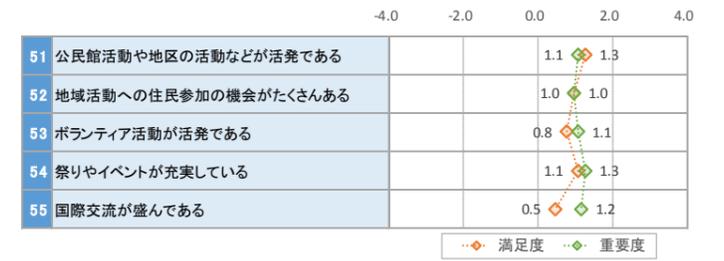
教育や文化について



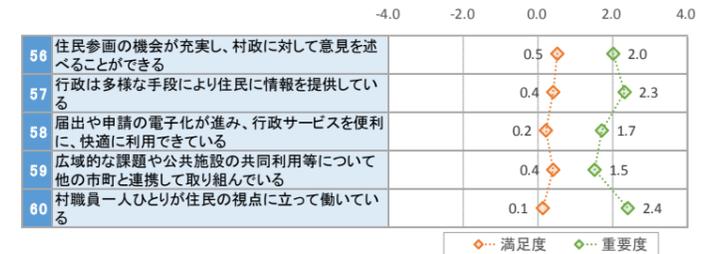
産業について



地域生活について



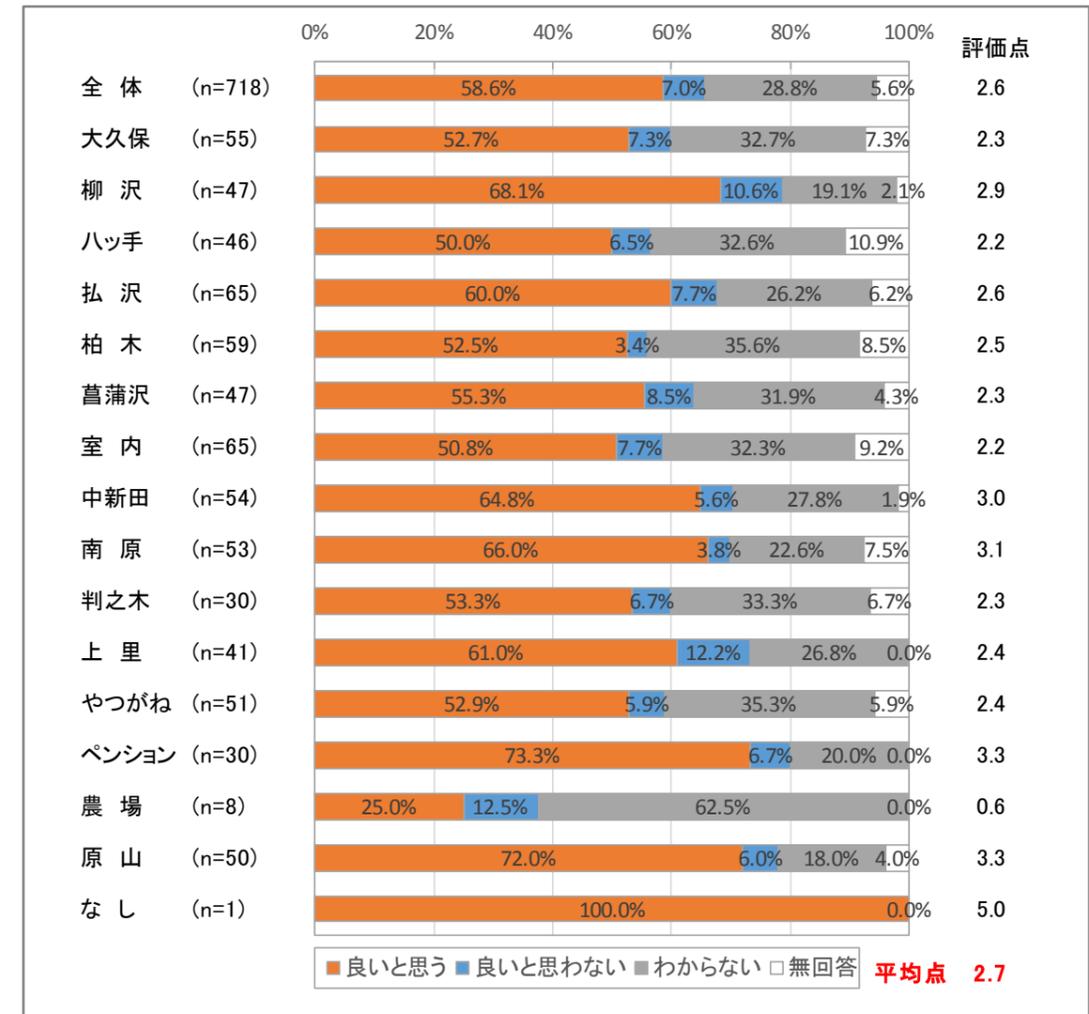
行政経営について



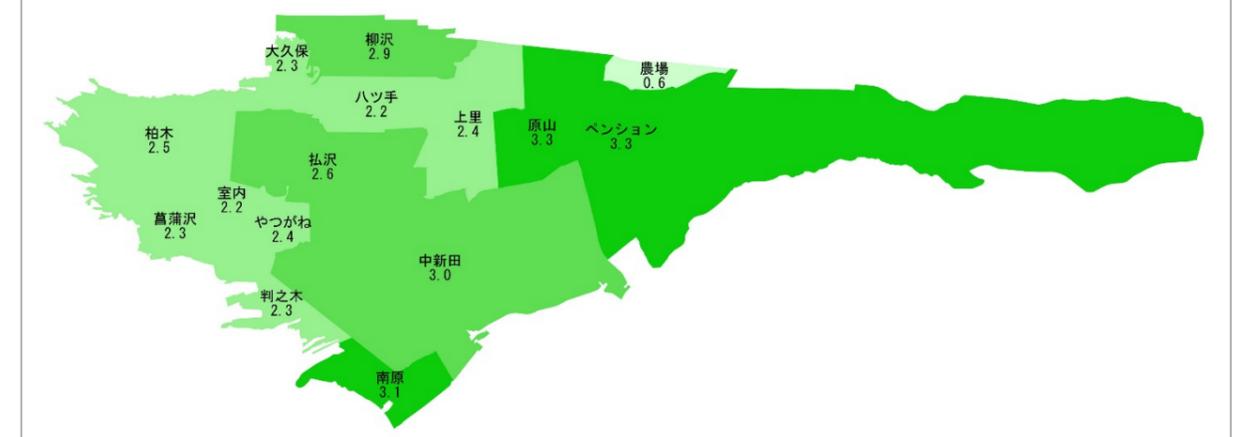
「日本で最も美しい村」連合への加盟について

「日本で最も美しい村」連合への加盟に関する賛否については、「良いと思う」が全体の58.6%、「良いと思わない」が7.0%、「わからない」が28.8%でした。結果を評価点として整理すると、全体結果2.6点となり賛同を得られた結果でした。地区別では、原山、ペンション、中新田、柳沢地区では賛成の傾向が高く、農場、ハツ手、農場地区などは低い結果でした。「良いと思う」と回答した理由では、『村の自然、景観、環境が守れる』『村づくりの目標になる』『ブランド力を活かせる』『村づくりを考える機会になる』などの意見がありました。「良いと思わない」「わからない」と回答した理由では、『加盟することのメリット・デメリットが不明』『加盟条件に適合するものがない』『取り組みの負担』など様々な意見がありました。

属性		良いと思う	良いと思わない	わからない	無回答	評価点	回答数
性別	男性	57.2%	11.2%	27.5%	4.1%	2.3	(n=269)
	女性	61.1%	3.9%	29.6%	5.4%	2.9	(n=355)
年齢	18~20歳代	71.7%	1.9%	26.4%	0.0%	3.5	(n=106)
	30歳代	57.8%	14.1%	26.6%	1.6%	2.2	(n=64)
	40歳代	60.4%	7.7%	28.6%	3.3%	2.6	(n=91)
	50歳代	62.9%	8.6%	27.6%	1.0%	2.7	(n=105)
	60歳代	51.6%	10.9%	29.7%	7.8%	2.0	(n=128)
	70歳代	58.8%	5.0%	27.7%	8.4%	2.7	(n=119)
	80歳以上	48.3%	2.2%	33.7%	15.7%	2.3	(n=89)
	職業	有職	61.3%	8.1%	25.8%	4.9%	2.7
無職		55.9%	4.2%	33.8%	6.1%	2.6	(n=263)
勤務先・通学先	村内	59.2%	9.8%	25.5%	5.5%	2.5	(n=255)
	広域連合内の村外	62.9%	8.1%	25.8%	3.2%	2.7	(n=186)
	広域連合外	65.7%	6.0%	25.4%	3.0%	3.0	(n=67)
出身地	ずっと住んでいる	54.1%	7.0%	30.3%	8.6%	2.4	(n=185)
	村外での居住経験がある	61.7%	10.5%	24.8%	3.0%	2.6	(n=133)
	他市町村から転入してきた	55.8%	6.0%	32.1%	6.0%	2.5	(n=215)
	県外・国外から転入してきた	66.5%	5.5%	25.6%	2.4%	3.0	(n=164)
	その他	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	0.8	(n=6)
所属地区	大久保・柳沢・ハツ手	56.8%	8.1%	28.4%	6.8%	2.4	(n=148)
	払沢・室内	55.4%	7.7%	29.2%	7.7%	2.4	(n=130)
	柏木・菖蒲沢	53.8%	5.7%	34.0%	6.6%	2.4	(n=106)
	中新田	64.8%	5.6%	27.8%	1.9%	3.0	(n=54)
	南原・判之木・やつがね	58.2%	5.2%	29.9%	6.7%	2.6	(n=134)
	上里・ペンション・農場・原山	65.9%	8.5%	24.0%	1.6%	2.9	(n=129)
全体	58.6%	7.0%	28.8%	5.6%	2.6	(n=718)	



＜地域別評価点＞



評価点の算出方法

「良いと思う」=5点、「良いと思わない」=-5点、「わからない」「無回答」=0点として算出。

「村づくり、地域・グループ活動」について

「1 地区の活動」「2 祭りなどの地域行事」「3 保育園・学校の行事」に参加
 「11 趣味や教養、芸術活動」「18 自然環境保全や親しむ活動」に参加希望

「参加したいが機会やタイミングが合わない」が 29.9%

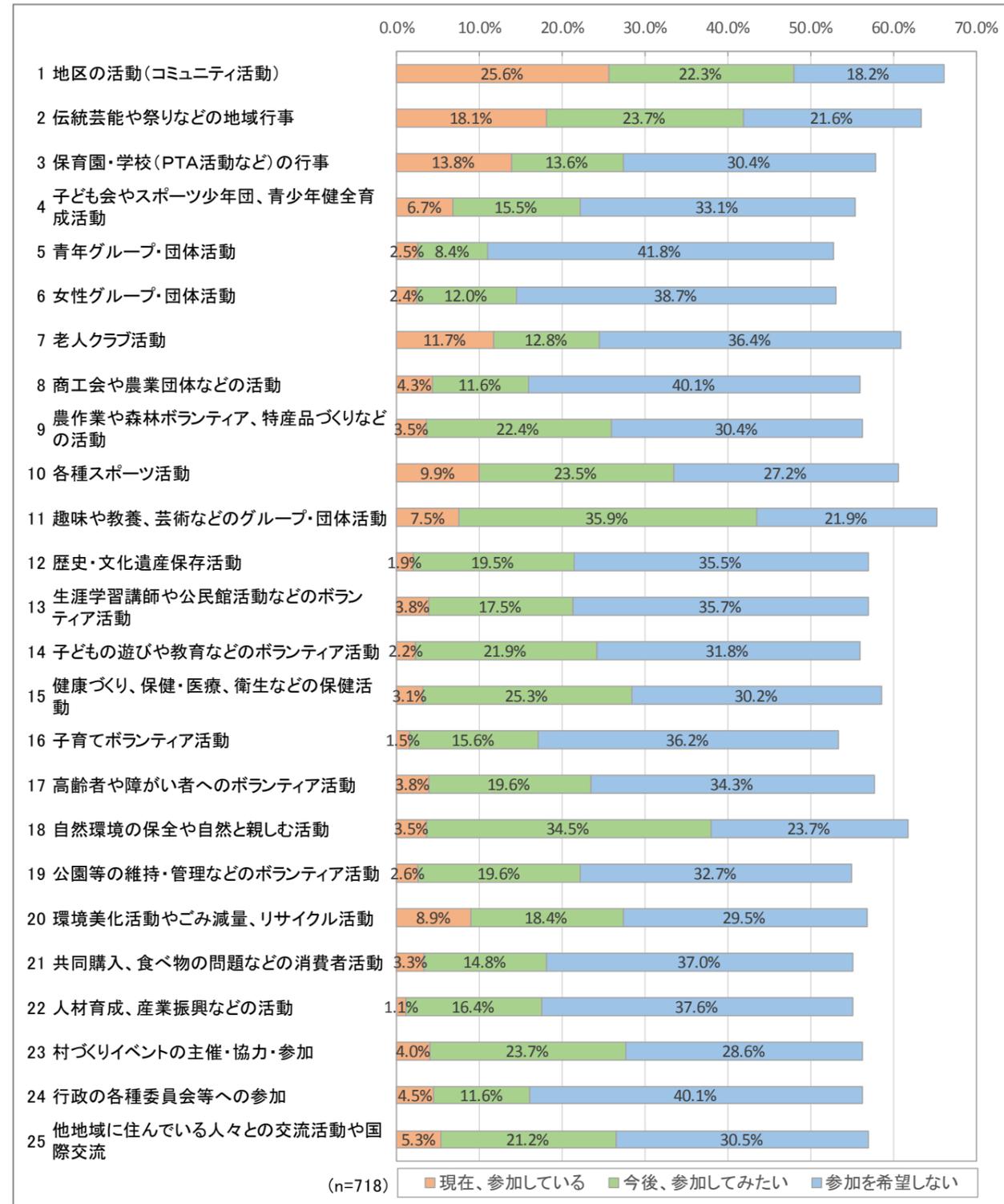
「地域での話し合いに参加したい」が 13.5%

「特に参加を希望せず、役場に任せる」が 15.7%

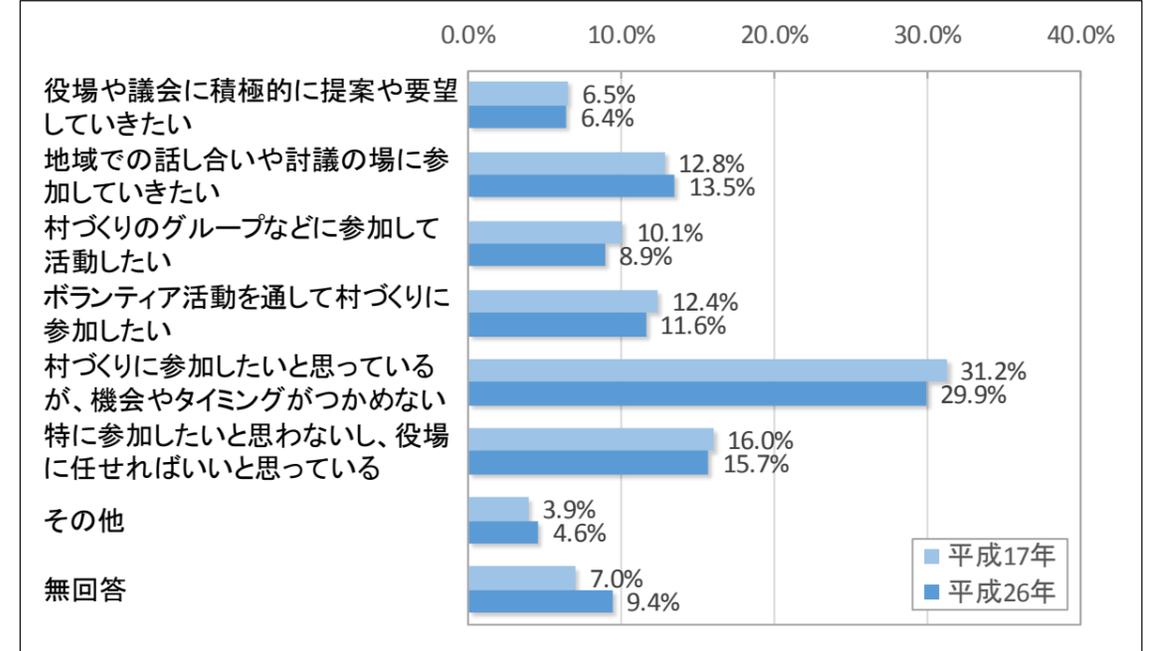
「活動内容や参加方法」に関する情報の充実

資金や機材をはじめとする活動支援がほしい

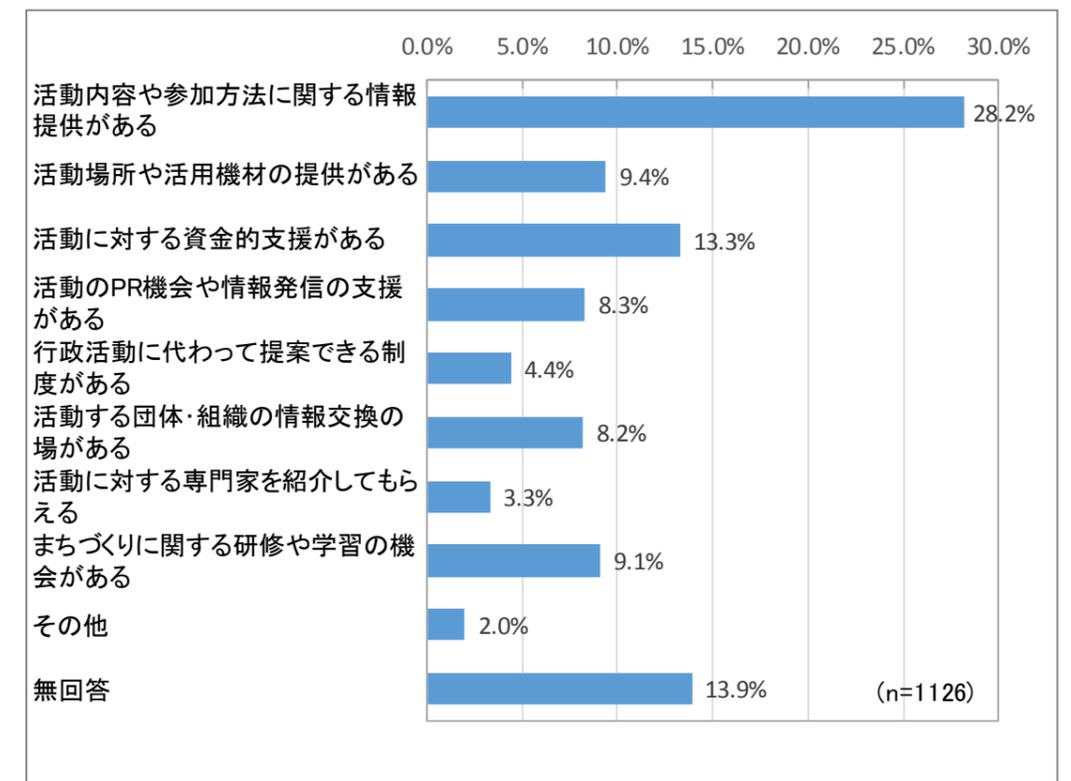
【現在参加している、参加してみたい活動】



【村づくり活動への参加希望形態】



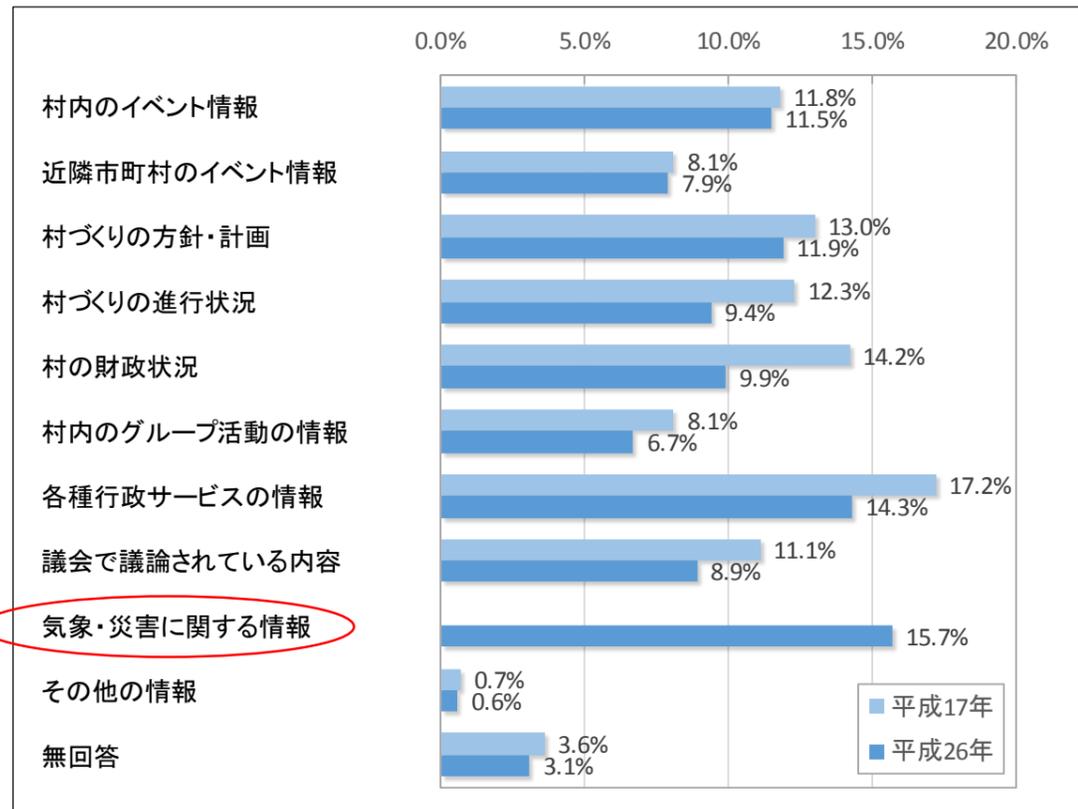
【住民活動への支援内容】



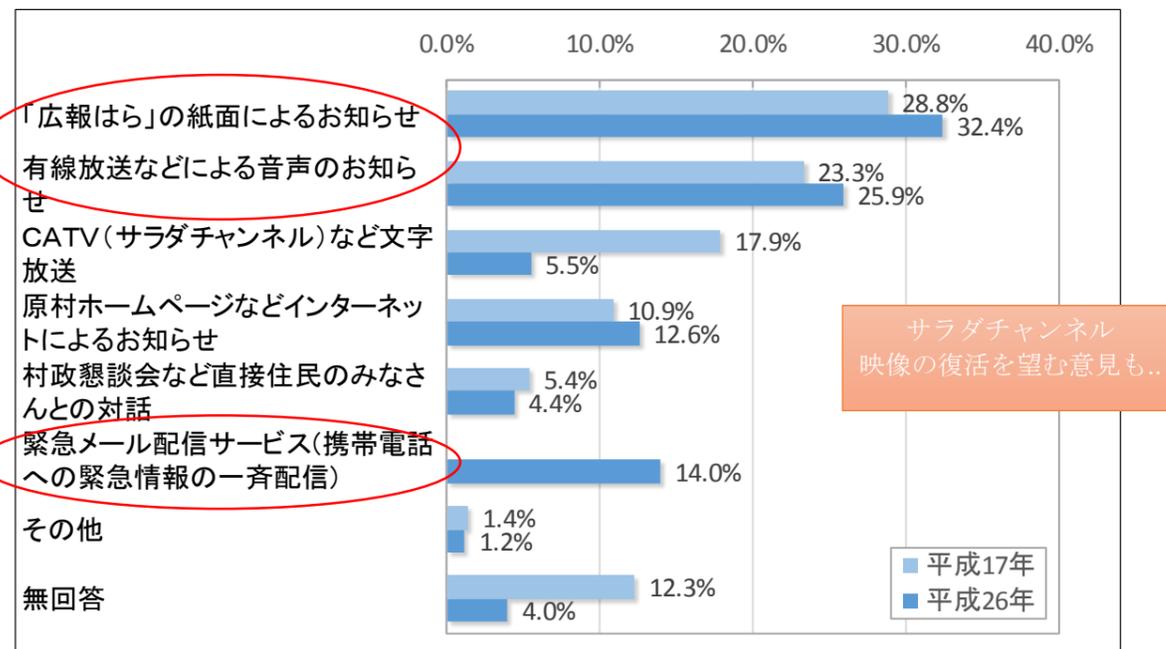
「行政サービス」、「行財政」について

「気象・災害情報」「各種行政サービス情報」の充実
 「広報はら」と「有線放送など音声」が約半数 ……反面、広報は見ないとの意見も
 「サラダチャンネル（映像放送）」の復活を望む声も

【村から欲しい情報】

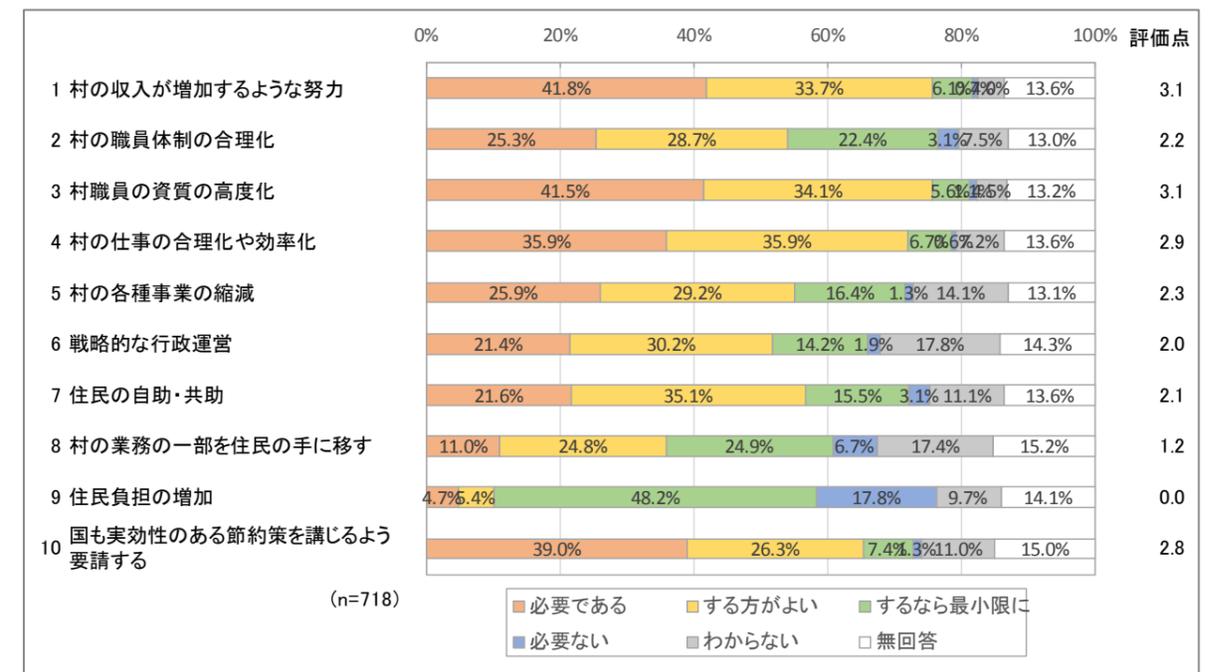


【村からの情報伝達手段】



「村の収入を増やす努力」と「村職員の資質の高度化」「仕事の合理化、効率化」の追求
 「村づくりの将来ビジョン、戦略」の明確化が課題

【自立した村づくりに必要なこと】



(参考：平成17年アンケート結果との比較)

	必要である		する方がよい		するなら最小限に	
	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年	平成26年	平成17年
村の収入が増加するような努力	41.8%	42.5%	33.7%	23.3%	6.1%	8.7%
村の職員体制の合理化	25.3%	29.7%	28.7%	25.7%	22.4%	17.1%
村職員の資質の高度化	41.5%	42.5%	34.1%	28.6%	5.6%	5.3%
村の仕事の合理化や効率化	35.9%	37.5%	35.9%	29.9%	6.7%	7.1%
村の各種事業の縮減	25.9%	25.7%	29.2%	25.8%	16.4%	15.9%
戦略的な行政運営	21.4%	19.8%	30.2%	22.5%	14.2%	16.7%
住民の自助・共助	21.6%	18.5%	35.1%	27.4%	15.5%	17.1%
村の業務の一部を住民の手に移す	11.0%	14.1%	24.8%	24.8%	24.9%	19.1%
住民負担の増加	4.7%	5.2%	5.4%	5.1%	48.2%	44.1%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	39.0%	44.2%	26.3%	21.0%	7.4%	4.8%

平成17年より割合が増加
 平成17年より割合が減少